

表1 小南海各層の石器組成 (安1965より)

	チャート					石英				フリント		玉髄		石灰岩		合計	%
	原 石	石 核	剥 片	尖 状 器	刮 削 器	敲 砸 器	石 核	剥 片	尖 状 器	刮 削 器	剥 片	刮 削 器	剥 片	刮 削 器	剥 片		
1B	2	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0.14
1C	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0.04
2	14	6	433	1	9	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	469	6.62
3	10	28	357	2	13	0	0	13	0	1	1	0	0	0	0	425	6
4	32	346	4972	6	48	4	15	634	8	0	1	3	1	1	0	6080	85.89
5	6	0	75		6	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	91	1.28
小計	64	382	5844	9	77	4	15	650	8	13	4	5	1	1	1	7078	100
合計	6380					686				9		2		1		7078	100

10)、鋸歯縁石器 (15)、彫器 (16)、片面調整尖頭器、揉錐器、ナイフ形石器? (11) などがある。安氏が「敲砸器」としたものは、大型の搔器と石核とみた。なお、15・16は、かつて「ナイフ形石器に近いもの」とした⁸⁾が、2004年の観察で、15は刃部とみた片側縁にそって狭長な側面があったことから鋸歯縁石器もしくは削器、また、16にも狭長な側面があり、そこに槌状剥離がみられたので彫器と、それぞれ判断した。

小南海石器群の重要性 不定形な剥片を生産する剥片剥離技術を中核とすること、各種の削器を中心とする器種組成などの特徴から、管見では、河北省西白馬営石器群が小南海石器群にもっとも類似する。ウラン系列年代も小南海に近い (表2)。また、ほぼ同時期とされる河北省益塔泉、山西省神泉寺、山東省沂源1号洞などの石器群も類似点をもつ。多くの研究者の指摘のように、小南海石器群は、後期旧石器時代後半、華北に広く分布した小型剥片石器群の一員ということができよう。

注目されるのは、両極打法による石刃の量産である。従来、この時期、華北には石刃技術は存在しないとされてきた。しかし、遼寧省西八間房、河北省四方洞上層、山西省賈魚溝などでも関連資料が出土しており、華北においても石刃技術が潜在的に存在した可能性は高い。小南海の両極打法もその一種とみなせよう。また、その石刃が二次加工されない点も重要である。彫器の存在もあいまって、植刃としての使用を想定させるからである。西白馬営や西八間房でも細石刃・細石核を連想させる小剥片・小石核がみられる。この時期、華北の石器群は細石刃技術に類する技術をもっていたと考えられよう。

以上、小南海石器群は、中国北部の後期旧石器時代後半の文化的様相、ことに細石刃文化の発生を研究する上で不可欠といえる。小南海石器群を細石刃文化の母形とした安氏の指摘をあらためて評価する必要がある。

おわりに 小南海の調査と研究をすすめた安志敏先生は2005年10月26日死去された。今回、先生の著作を再読し

表2 年代測定値 (ZK:C14法、半減期5568年、未校正、BKY:ウラン系列法)

Lab. no	遺跡名	試料	測定値(年BP.)	備考
ZK-0170	小南海(第1次調査)	動物骨化石	12710±220	各層試料混合
ZK-0654	小南海6層(第2次調査)	木炭	23420±500	
ZK-0655	小南海(第2次調査)	動物骨化石、木炭	10690±500	2-3層試料混合
BKY80053	小南海6層(第2次調査)	ウマ歯化石	21400±1300	
BKY80054	小南海6層(第2次調査)	シカ歯化石	18900±1500	
BKY	西白馬営	ウシ歯化石	18000±1000	
BKY	西白馬営	ウシ歯化石	15000±1000	

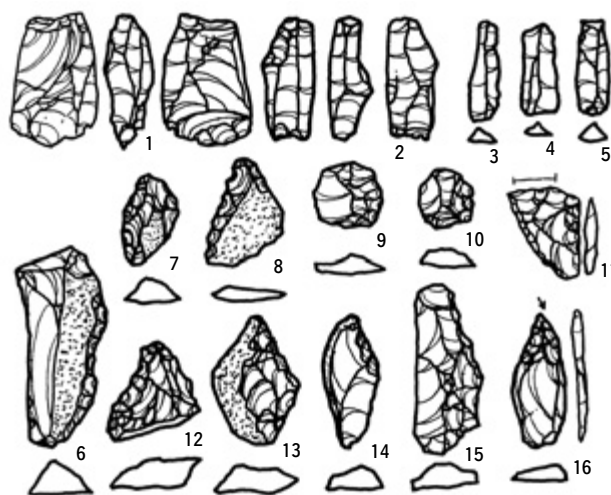


図18 小南海出土石器 (S=1/2)
安1965をリトレース、11と16の側面図はスケッチ

たが、その先進性、水準の高さ、視野の広さを改めて実感し、鳥居龍三、裴文中、梁思永、夏鼐などの先学に師事した後、中国細石刃文化研究や新石器文化研究などに多くの業績を残された先生の足跡を思わずにはいられなかった。また、先生の笑顔と達者な日本語は忘れることができない。ご冥福を祈ります (加藤真二)

注

- 1) 安志敏「河南安陽小南海旧石器時代洞穴堆積の試掘」『考古学報』1965-1
- 2) 賈蘭坡ほか「山西峙峪旧石器時代遺址発掘報告」『考古学報』1972-1
- 3) 周国興「河南許昌靈井の石器時代遺存」『考古』1974-2
- 4) 安志敏「海拉爾の中石器遺存」『考古学報』1978-3
- 5) 張森水『中国旧石器文化』天津科学技術出版社、1987年
- 6) 黄慰文「中国旧石器時代晚期文化」『中国遠古人類』科学出版社、1989年
- 7) 王幼平『中国遠古人類文化的源流』科学出版社、2005年
- 8) 加藤真二「中国北部の後期旧石器文化」『旧石器考古学』60、2000年